

伊丹市立工芸センター

The Museum of Arts & Crafts ITAMI

A Contemporary

Japan

Kaori JUZU

Jun KONISHI

Michihiro SATO

France

Marion DELARUE

Annie SIBERT

Céline SYLVESTRE



Korea

Jihee HONG

Junwon JUNG

Heejoo KIM

Jewellery

China

Xiaodai HUANG

Li LIANG

Mian WU

Odyssey

2019年4月6日(土)–5月6日(月祝)

10:00–18:00 (入館は17:30まで)

月曜休館

*4/29、5/6は開館

入場無料

A Contemporary Jewellery Odyssey

2019年4月6日(土)–5月6日(月祝) 10:00–18:00 (入館は17:30まで)

伊丹市立工芸センター

月曜休館 *4/29、5/6は開館 入場無料

[アーティストトーク: 4月6日(土) 14:00– 申込不要・無料]

移動を旨とするオデッセイの叙事詩が吟遊詩人によって朗唱されるように、ジュエリー作家たちは、人生という旅の軌跡を、選び取った素材どうしの関係性によって語らせます。

さまざまな土地を巡り得た12人の物語は、精神や思想が形になった独自の表現に昇華されていることでしょう。

伊丹市立工芸センターでは、各国のジュエリー作家と連携した企画展を積極的に開催してまいりました。本展においても、ジュエリーの優れた身体性と象徴性によって、作品に秘められた各作家の体験が多くの方々に共有され、フランス、中国、韓国、日本の文化交流がより豊かなものになることを期待しております。

伊丹市立工芸センター

この展覧会は、フランスの現代ジュエリー作家である私達3名がそれぞれアーティスト・イン・レジデンスで滞在した中国、韓国、日本での豊かな経験の成果を発表したいという思いが出発点となって実現しました。そして、各人が滞在したアジアの国から各3名のアーティストを招待することにより、技術的にも文化的にも様々な影響を形づくる懸け橋となりました。4か国を巡る本巡回展をフランス、韓国に続き、この度日本で開催いたします。これら12名の現代ジュエリー作家の作品は、知的遍歴、冒険の軌跡、予期せぬオデッセイの旅そのものです。

マリオン・ドラリュ(2019年ヴィラ九条山レジデント)

アニー・シバル、セリーヌ・シルヴェストル(2015年ヴィラ九条山レジデント)



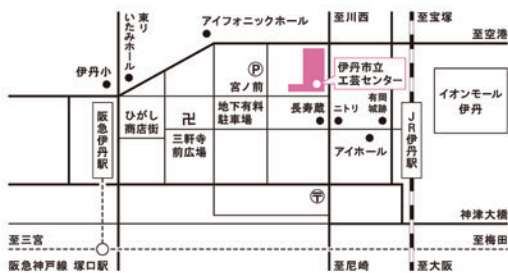
Michihiro SATO



Kaori JUZU



Jun KONISHI



阪急: 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分
JR: 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分
阪急バス: 伊丹中央停留所下車 北へ徒歩約3分
*駐車場はございませんので、宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください



Heejo KIM



Jihee HONG



Junwon JUNG



Li LIANG



Xiaodai HUANG



Mian WU